



芽室町コミュニティ・スクール(CS)通信

～みんなで割り みんなでつなく ずっと輝くまち めむろ～



発行 めむろ郷育・夢育応援団事務局(芽室町教育委員会)

～かなえよう～

No.8

令和5年9月8日

異文化理解を進めました～モンゴル・ケニア(芽中:3年)



7月6日(木)2,3時間目、芽室中学校3年生が国際理解を深めるための授業を行いました。講師は、モンゴル出身の久良木さんご夫妻(ご主人は日本人)、ケニア出身のスティーブンさんご夫妻(奥様は日本人)でした。授業内容は、久良木さん、スティーブンさんから、モンゴルとケニアで暮らしていた頃のご自身のお話をそれぞれお聞きし、ご夫婦で生徒からの質問にお答えいただく。という形で、進行了ました。

異なる文化で育ったお二人のお話をお聞きしながら、価値観の違う相手を理解し、お互いの良さを認め合うことについて考える機会となりました。子どもたちはケニアとモンゴルについてタブレットを使って事前に調べていて、講師の先生から「生徒たちの質問内容を聞いていると、よく調べてくれていて、興味をもってこの授業に臨んでいることが分かってうれしかった」とコメントをいただきました。

和楽器(琴・三味線)に挑戦!(南小:4,5,6年)



南小学校の琴三味線の授業では、先生方の演奏が素晴らしく、私も聞き入ってしまいました。楽器に触れさせてもらったことは大変貴重な体験でした。

7月7日(金)、芽室南小学校の4,5,6年生が琴と三味線に触れる授業を行い、石黒みゆき先生(三味線)と佐々木君恵先生(琴)に講師として来ていただきました。

まず、お二人の先生から楽器の説明を受け、三味線はべっ甲、象牙、猫や犬の革を使っているとのことをお話を聞き、子どもたちはとても驚いていました。琴は龍に見立てた楽器で、龍頭、龍尾、龍舌というように楽器のパーツにも龍の文字が付いているというお話もありました。

先生のお話と演奏の後、子どもたちが「さくらさくら」の演奏に挑戦しました。先生に教えていただきながら、初めて触れる楽器の演奏にむずかしさを感じた子もいたようですが、興味を持ったので習ってみたいという声も聞かれました。

子どもたちのために何かしたい

できる人が、できる時に、できることを支援します

学校支援ボランティアは随時募集しています。詳しくは、生涯学習課社会教育係(62-9730)までお問い合わせください。